

スゴイぞ!!オオスズメバチ

黄色と黒のシマシマ模様で、一目で強そうだとわかる大型昆虫、オオスズメバチ。
世界最大のスズメバチで日本の昆虫界最強とも名高い本種について紹介します。

和名:オオスズメバチ

学名: *Vespa mandarinia*

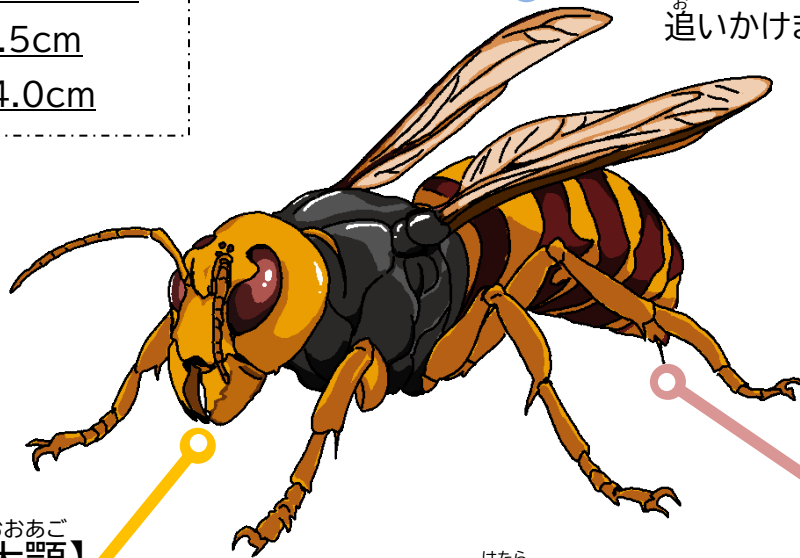
分類:スズメバチ科スズメバチ属

女王バチ:4.0cm~5.5cm

働きバチ:2.7cm~4.0cm

【翅(はね)】

飛ぶスピードは時速30~40km。
とても早く、敵とみなした相手をおいかけます。



【大顎】

ギザギザで、餌や巣の素材をかじるため
や、他の生き物への攻撃時、また巣に近づく者に対して警戒音(アゴを使ってカチカチという音を出して相手を威嚇する)を出すため等、さまざまな場面・用途に使用されます。



【毒針】

働きバチ(メス)のみがお尻に持ち、産卵管が変化したものです。外敵への攻撃に使用され、刺されると激しい痛みや腫れを伴います。
また、針から注入される毒に含まれる成分により、アレルギー反応(アナフィラキシーショック)が引き起こされる場合があります、過去には刺された人が、のちに亡くなった例もあります。

【もしスズメバチに刺されたら】



① 何度も刺されないために...

まずその場を離れましょう。その際、ハチを刺激しないよう、決して走らないこと。刺されたところを水で洗って、毒を洗い流してから、患部を冷やして、安静にしましょう。



② 過去に一度でもハチに刺されたことがある人は...

もう一度ハチに刺されると、数分~数十分の間に、吐き気や嘔吐、呼吸がしんどい等の症状(アナフィラキシーショック)が出て、最悪の場合は死に至るおそれもあります。アナフィラキシーショックの症状を和らげる自己注射薬(エピペン)は、一般に販売されておらず、医療機関でハチ毒のアレルギー検査を受けた後、必要な方に処方されます。過去にハチに刺されたことがある方は、ハチ毒のアレルギー検査を受け、必要な場合は、野外活動時に自己注射薬(エピペン)を携帯しておきましょう。



心配なら医療機関でハチ毒アレルギー検査を



自己注射薬(エピペン)

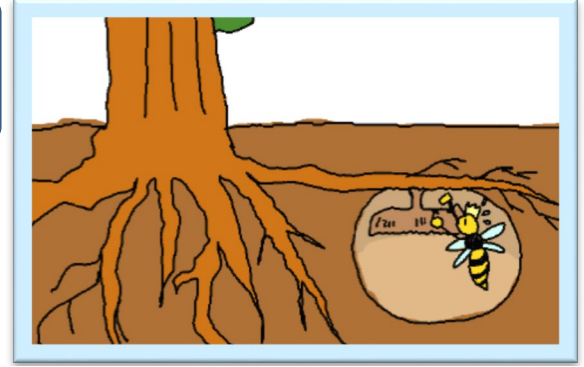
オオスズメバチの1年

春

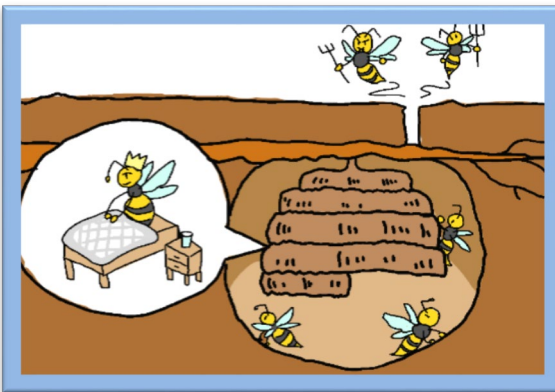


- ① 春、暖かくなって冬眠から目覚めた女王バチは巣作りのために栄養を蓄えます

初夏



- ② 初夏、女王バチが単独で巣作りを開始。土中や木の空洞等、閉鎖された場所に巣作りします

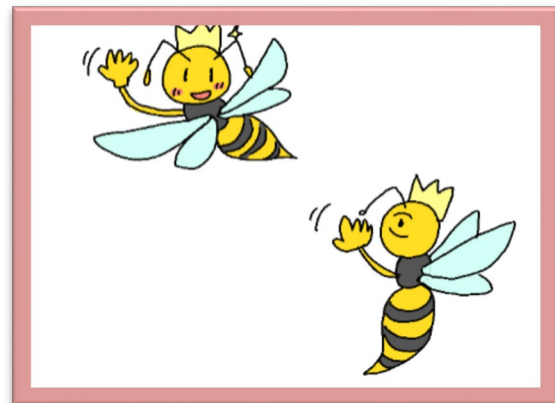


- ③ 働きバチが誕生しはじめ、巣が大きくなります。女王バチは巣作りをやめて、産卵に専念します

秋



- ④ 秋ごろ、新女王バチが誕生します。その後は巣の拡大をやめて、新しい女王バチの生育に力を注ぎます



- ⑤ 新女王バチが成長し、巣の外で雄バチと交尾後巣を離れます。働きバチ・雄バチは越冬せず死んでしまいます

冬



- ⑥ 女王バチは冬の間、木や土の中でじっとして春が訪れるのを待ちます→①に戻る

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL：078-331-1146 FAX：078-331-1148

竹野自然保護官事務所 TEL：0796-47-0236 FAX：0796-47-0249

